

財団法人 神奈川県動物愛護協会

2009年度事業報告書

<○…達成 △…一部達成 ●…未達成>

[1. 事業活動方針]

○施設における犬猫の保護・譲渡、各種相談への対応、付属動物病院における人畜共通 伝染病予防、動物間感染症予防や動物の治療を通して、広く一般に動物愛護精神や飼育知識を普及し社会に貢献する。

○不妊去勢手術の強力な実施と啓発活動により、犬猫等の繁殖制限を行い、動物遺棄という違法行為やノラ猫の繁殖をなくすための努力を惜みず、人と動物とのよりよい共存の為に寄与する。

○動物愛護法及び基準の見直しを受けて変更された内容を把握し、実地への検証を行うと共に、国の指針を受けて作成される県の指針作成に積極的に参加する。

△施設で行なう犬猫等の保護・譲渡、相談業務の他、ペットとして輸入された外来種の問題や動物愛護法に含まれながらも愛護動物として扱われていない家畜や実験用動物等の問題にも取り組むことを目標とする。

上記事業の円滑な運営のために、総務部会、動物愛護推進部会の二部会を設け、各部会は複数の委員会で構成され活発な活動と連携により事業を遂行致します。

[総務部会]

<総務委員会>

事務局及び職員の管理並びに運営上の金銭出納、保護動物の飼育管理及び医療業務維持

<広報委員会>

「動愛だより」発行、写真展の開催、パンフレット作成、動物愛護精神の啓発

<会員委員会>会員管理及び増強

<施設改善委員会>協会の収容施設等の環境整備・改善

<募金・渉外委員会>

街頭募金の開催、募金箱設置管理、安定的な餌の供給及び各種寄付の促進

[動物愛護推進部会]

<不妊去勢手術推進委員会>不妊去勢手術の推進と啓発、ノラ猫捕獲等関連相談への対応

<バザー委員会>バザーの開催、バザー用品の収集等

<保護譲渡追跡委員会>

収容動物の里親探しの実施、譲渡後の動物の追跡調査及び里親との連絡

<動物問題対応委員会>法的な相談、外来種等の問題対応及び研修会の実施など

<青少年育成委員会>青少年への動物愛護精神の養成及び見学研修補助

[2. 事業内容]

1. 動物生命尊重と動物の適正飼育推進及び共存のための活動

ア 動物の保護及び譲渡活動

○犬猫等の保護譲渡を指導的な立場で行い、目標頭数を年間80匹以上とする

保護数 犬65匹 猫69匹 その他3匹 合計137匹

譲渡数 犬61匹 猫70匹 その他1匹 合計132匹

※「その他」の内訳はアライグマ:2頭(内1頭譲渡)、ドバト(南警察署より)

※保護及び譲渡数の詳細は巻末資料を参照

△保護犬猫の CP 管理…保護犬猫の写真・経歴・性格・健康状態等詳しくリスト化

△譲渡犬猫の CP 管理…譲渡後の経緯または連絡等をシステム化する

○犬猫等の譲渡に関する寄付金は基本的に 10,000 円とする。(ワクチン、不妊去勢済)

○飼い犬猫等の保護に関する寄付金は、基本的に猫 20,000 円、犬 20,000～50,000 円(大きさによる)とし、拾得の子猫に関しては基本的に 1 匹当り最低ワクチン費用として 3,000 円のご寄付を頂くようにする。

(譲渡方法)

○施設での譲渡

○毎月2回以上、他所での里親探し(毎月2ヶ所、隔月1ヶ所予定)

→総参加数:24回 総参加頭数:117頭 総譲渡数:11頭

○年間5回以上里親探し行事への参加

8月1・2日:麻布大学オープンキャンパス(参加:7・5頭 譲渡:0・0頭)

9月27日:横須賀動物フェスティバル(参加:12頭 譲渡:6頭)

10月12日:神奈川県動物フェスティバル(参加:11頭 譲渡:2頭)

10月18日:逗子市民祭り(参加:9頭 譲渡:0頭)

10月31・11月1日:麻布大学祭(参加:11・7頭 譲渡:0・0頭)

△インターネットを使用しての里親探し

イ 動物に関する相談への対応

総電話件数:7,580件

【内訳】

・不妊去勢	1,239 件
・診療	2,559 件
・保護・里親探し	866 件
・譲渡希望	505 件
・里親先等	198 件
・ノラ猫	421 件
・動物行政	88 件
・動物虐待	135 件
・犬猫以外の動物	76 件
・その他	1,493 件

- 動物愛護精神及び法律に則り、必要な場合は専門家の意見も聞き適正な返答を行う(無料)
- 各種相談に応じた資料を整備し、1部送付は無料とする(複数は実費程度寄付)
- △犬猫の飼育に関する資料
- 動物に関連した法律、条例の資料
- 集合住宅でのトラブルや対応策に関する資料
- 神奈川県内の動物関連情報(自治体の取組、各市町村の犬猫処分数リストなど)
- 神奈川県内の動物愛護団体と活動内容リスト
- △動物虐待及び飼育指導など、必要に応じ現地調査・指導を行う(無料)
- 動物の遺棄、処分、飼養不可能な繁殖、安易な譲渡、野良猫の増加等をなくすべく、不妊去勢手術は徹底した指導・説明を行い援助する
- 不妊去勢手術を目的としたノラ猫の捕獲のみ捕獲器の貸出す(保証金 7000 円)
 - 捕獲器貸出件数:121件 捕獲器貸出回数:146回
- 不妊去勢手術を目的としたノラ猫の捕獲依頼には、協会内で協力して行う
 - 捕獲代行回数:45回 捕獲手術頭数:73頭(オス:32頭 メス:41頭)
 - (交通費は依頼者に御負担を要請)
- インターネットを活用し、不妊手術の必要性や健康管理の為のワクチン接種など、協会の事業内容と共に掲載していく。

ウ 協会附属動物病院の活動

- 保護収容動物のワクチン接種、フィラリア予防、不妊去勢手術及び健康維持管理
- 譲渡犬猫は駆虫、ワクチン接種、フィラリア予防、不妊去勢手術実施済み証明及び健康面での特記事項があれば明記し添付する
- 犬猫等の傷病治療、不妊去勢手術は施療を念頭に置き実施する(実費程度御寄付)
- 飼い主の判明しない犬猫及びノラ猫の傷病治療、不妊去勢手術を積極的に行う
- ノラ猫の繁殖防止対策として、年間1500匹の不妊去勢手術を目標とする
 - ノラ猫手術数:925頭(オス:324頭 メス:601頭)
- 動物への診療、飼育・衛生(人畜共通伝染病の防止、飼養環境)指導を通して、動物愛護精神及び健やかな動物との共存の普及に努める
- 人畜共通伝染病(狂犬病予防)、動物間での伝染病予防など予防治療を推進する
- 予防治療は収益事業として基本的に有料とする(事情により施療または御寄付)
- 広く一般に予防治療を推進すべく広報を行う
- 「ノラ猫減らし隊賛助会員」の特典としてノラ猫の不妊去勢手術を以下の要領で行う
 - (会費:5000円 オス猫:4000円 メス猫:5000円)
 - 賛助会員手術数:600頭(オス:203頭 メス:397頭)

2. 動物愛護精神普及のための活動

- 施設見学・動物愛護研修・ボランティア体験依頼への対応
- 施設の見学・ボランティア体験、施設での研修は、目的、内容、人数、日時、団体及び責任者を明記した依頼書を事前に提出、動物愛護の推進となるものについてのみ許可(無料)
- 見学・研修・短期ボランティア体験の日は施設の業務に支障のない範囲で行う
見学:個人見学 188名
団体見学 横浜国大附属横浜小学校 42名、相模女子大 13名
実習:シモゾノ学園 2名、麻布大学 47名、東放学園 3名、スクールオブビジネス 3名
法政大学第二高校 4名
ドイツ大学生 1名(フランジスカ・ガブラーさん):2010.2.15~2010.6.15 予定
職場体験: 1日 2名(逗子中学校)
ボランティア体験: 0日 0名(青少年協会の夏休みボランティア体験学習が廃止された為)
*但し、一般のボランティア登録者は 14名
- 施設以外での研修依頼の場合、実費は依頼者の負担とする。目的、内容、人数、団体及び責任者を明記した依頼書を提出、企画の可否を通知する。(企画は無料)
講義:麻布大学動物行動管理学研究室(植竹勝治教授)実習の一環として、麻布大学にて
山田会長・後藤副会長が動物愛護について講義を行った

3. 動物愛護に関する講習会等の開催

- 動物愛護思想の啓発に関する講習会セミナーの開催
「地域で取り組むノラ猫問題」シンポジウム
開催日:2009年7月20日(月・祝)
対象者:神奈川県民(参加者数:52名)
講演者:黒澤泰(神奈川県福祉保健センター・獣医師)
山田佐代子(本会会長)

4. 犬猫以外の動物への対応

ア アライグマ等について

- 施設で保護できず、飼育許可を得ている役員が保護を行なう個体について、不妊去勢手術、飼料、保護里親探しにかかる費用等は協会にて支出する
→継続保護は役員が経費負担

イ その他の動物に対する相談

- 個々の動物種に対して、役員の中で詳しい人をリストアップし、協会に相談が来た際に担当して頂く

5. 機関誌「動愛だより」の発行

→2010年3月10日に発行(5000部作成)

- 内容…動物愛護精神の普及啓発と協会活動の報告
- 発行部数等…年間1回以上、2000部以上
- △配付先…賛助会員、寄付者、犬猫の保護譲渡先、里親譲渡会、写真展等

6. 協会運営の活性化

ア バザーの開催・参加

- 毎月1～2回のバザーの他、施設事務所でも常時バザー用品販売を行う
- バザー用品提供への呼び掛けを行う
- バザー用品提供のチラシを作成、配付
- 用品の引取りは依頼があれば車にて伺う

イ 協会グッズの作成

- 冊子、絵はがき、Tシャツ、カレンダー、便箋・封筒など、協会の広報の一環として作成

ウ 協会パンフレットの作成配付

→2010年3月10日作成

- 内容…協会の説明と活動内容紹介、賛助会員制度の広報、会員拡大
- 作成部数…5000部
- 配付方法…動物愛護に感心のある方々(有名人著名人含む)に配付・郵送、各種参加行事での配布、協会活動に賛同する事業所などに置かせて頂く

エ インターネットのホームページでの協会紹介

- △内容…協会の経緯、施設、現状。寄附・バザー用品の呼掛け、里親探しなど
- △更新…最低1か月に1回とするが、必要に応じて随時更新する

オ 募金活動

- 街頭募金を年2回行う(春・秋)

春：6月13日(土) 参加者 8名 募金額 95,600円

6月20日(土) 参加者 5名 募金額 52,794円

秋：11月 7日(土) 参加者 13名 募金額 90,446円

11月21日(土) 参加者 10名 募金額 90,206円

横浜国立大学附属横浜小学校協力街頭募金：

2月 6日(土) 参加者 38名 募金額 141,624円

カ 写真展

- 協会活動や現状と保護動物に関する写真展を年1回、2日間行なう

→ 第8回 写真展「小さな命の輝きを見つめて」

日 時：5月16日 13:00～19:00、17日 10:00～19:00

場 所：かながわ県民センター1階展示場

来場者数：総数358名(16日170名、17日188名)

募 金：121,836円

バザー：26,250円

作品展示協力：映画監督 飯田基晴／彫刻家 はしもとみお／写真 鈴木正幸／

帝京大学動物福祉部活「SWEET HEART～動物の命の大切さを考える部」

- 写真展開催の広報活動を充実させる
- 写真展の内容がマンネリ化しないように新たな取組を入れる
- 入場料無料

キ 渉外活動

- 年間5ヶ所以上の企業を訪問し、協会活動への支援を要請する
(協会活動の趣旨に準じた企業、宗教に関係しない企業、法的に問題のない企業等)
 - 京浜ペットライフサポート、ファミリーホール(企業賛助会員登録)
 - 異業種交流会出席 2 回
- 施設保護犬猫の飼料の安定供給のために、関連企業への要請を行う

ク 各種報道を通じての協会の紹介

- 取材依頼…報道趣旨が動物愛護に準じ問題のない場合は応ずる
 - ・無料配布誌:ぐらんわん(老犬との暮らしを考える冊子年 4 回発行)
 - *2010 年 1 月号から後藤副会長がコラム掲載
 - ウフウフ(犬との暮らしを考える冊子年 4 回発行)
 - *2010 年 3 月号に協会の施設紹介掲載
 - ・新聞:毎日新聞横浜支局取材(横浜市の引取り業務について)
 - ジャパンタイムズ(「犬と猫と人間と」映画紹介での名称使用)
 - ・月刊誌:いぬのきもち(4月号):施設紹介掲載
 - 漫画「ねこぷに」(3月号):「犬と猫と人間と」裏話漫画掲載
- △取材要請…協会活動を年間に2回は雑誌、TV、ラジオ等で紹介して頂く
 - ・新聞各社に多頭飼育問題などの記事掲載依頼を行ったが、毎日新聞にシーズーの多頭飼育問題が掲載(2009 年 12 月 15 日)
 - ・「劇的改造ビフォーアフター」に応募し、一次選考を通過したが採用には至らなかった
 - ・その他
 - ・横浜市営バス車内広告掲載(2009.12.26~2010.12.25)
 - 協会の活動紹介とノラ猫の不妊去勢手術及び手術済目印(耳カット)について掲載

ケ イベントへの参加

- 動物愛護の啓発及び動物愛護啓発を盛込んだ物品販売等による活動費収入強化
 - ・映画「犬と猫と人間と」の上映映画館等にて、物品販売・パネル展示・募金など行った。
 - ・物品販売・パネル展示:かながわ女性センター(江の島)6 月 14 日
 - ・物品販売:ユーロスペース(渋谷)11 月~12 月
 - ・トークショー:ジャック&ベティ(横浜)12 月 19 日(最終日)
 - パネル展示・募金・バザーは上映期間中開催
 - ・パネル展示:大倉山記念館(横浜)2010 年 2 月 5 日
 - (映画関連での物品売上)
 - ポストカード:246 セット(300 円)⇒73,800 円 Tシャツ:25 枚(1350 円)⇒33,750 円
 - <その他イベント>
 - ・8 月 1 日(土)2 日(日)「麻布大学オープンキャンパス」里親探し参加

- ・8/8「風邪ファクトリー」主催イベント(横浜):パネル展示・バザー開催。映画短編上映
- ・9/12「テイスケックジャパン 2009 チャリティ大会」に来賓参加。大会収益金12万円ご寄付
- ・10/3「神ノ木地区センター」(横浜):映画公開前イベント参加:パネル展示・講話(山田)
- ・11/21「緊急提言! 真に動物を守る法律へ」(大阪):シンポジウム参加

コ 施設改善

△犬の吠え声による苦情を解消すると共に、保護動物の状況改善、また老朽化した施設の補修及び円滑な活動を目指した施設の改善を行う

→2009年5月 エキゾチックアニマル舎完成

順次、施設改善を進める予定であったが、9月にTV番組「劇的ビフォーアフター」の一次選考が通ったという連絡があり、二次選考に進んだため予定を中断したが採用には至らなかった(3月)

7. 協力活動

- 「神奈川県災害時動物救護活動連絡会議」の一員として、大規模災害が発生した場合に被害を受けた動物達の救護活動を行う
- 動物愛護週間に開催される神奈川県内の行事に参加し、里親探しを通して動物愛護精神の普及並びに啓発活動に寄与する
 - 「横須賀動物愛護フェスティバル」「動物フェスティバル神奈川 in ふじさわ」に里親探し及び動物愛護普及啓発活動にて参加
 - 「動物フェスティバル神奈川 in ふじさわ」では、動物愛護協会賞として「つるみ地域猫の会」代表、持丸りえ子さんを表彰(賞金2万円授与)
- 大学等の研究機関との連携を図り、動物福祉研究の発展に寄与する。
 - 麻布大学 動物応用科学科 動物行動管理研究室の卒研究生4名受入れ
 - ・猫の飼育環境による行動及び生理学的指標の変化: 6月22日-8月20日
 - ・群飼時×単飼時: 7月4日-26日
 - ・飼育空間の広さ: 7月23日-8月9日
 - ・遊具の導入: 8月11日-20日
 - ・ハンドリングによる犬の行動及び生理学的指標の変化: 8月10日-9月15日
 - 日本家畜管理学会・応用動物行動学会2010年度春季合同研究発表会にて発表
 - 日時:2010年3月30日(火)10:30-10:45
 - 場所:明治大学 駿河台キャンパス リバティータワー2階
 - 演題:保護施設における成猫の飼育環境が行動とストレスに及ぼす影響
 - 演者:後藤章浩・小山瑠美*・菊地理恵子*・田中智夫*・植竹勝治*
 - (本会事務局長・*麻布大獣医)